

## SSB（ソーシャルシステムズビジネス）

—安心・安全・快適な社会の実現に向けたソリューション&サービスの提供—



滝川 豊 執行役員専務

ソーシャルシステムズ・ソリューション & サービス・ビジネスカンパニー社長

当カンパニー（以下、SSB）は、「安心、安全、快適」への高まるニーズを捉え、画像センシングやICカード利用技術、システム構築から保守・運用までグループ内で一貫して提供できる強みを活かしたソリューションにより、新規ビジネスの拡大を推進しています。

### 市場環境と戦略方針

#### ☑ 安心・安全・快適ニーズへの取組みを加速する

増加する事件・事故への対策の強化、相次ぐ企業不祥事を背景としたCSR・内部統制への関心の高まりなど、今後ますます安心・安全な社会の実現に向けた動きは加速していくと予想されます。一方で、人々の価値観の多様化を背景に、より快適で便利な生活が追求される中、個々のニーズを満たす新しいサービスが次々と出現しています。このように社会ニーズが大きく変化する中、従来のSSBの主力である駅務関連事業、交通管制事業については、鉄道ICカードの普及による自動券売機の台数減や官公庁のインフラ投資の抑制等により、大きな成長が望めなくなりつつあります。そこでSSBは、これまで培った画像センシングやICカード利用技術などをコアに、「安心・安全・快適・便利」をテーマとしたソリューションを拡充し、新規ビジネスとして将来の成長の柱に育成していく方針です。また同時に、既存事業を中心に、体質強化に向け業務プロセスを変え事業運営変革に継続して取り組んでいきます。

### 業績結果と2007年度の見通し

#### ☑ 大幅な売上減の中、利益確保に努める

2006年度のSSBの業績は、売上高1,059億円（前期比15.4%増）、営業利益81億円（同82.0%増）となりました。駅務関連事業では、全国的に鉄道乗車券のICカード化が進み、自動改札機や自動券売機などの更新・改造需要が売上を大幅に牽引しました。またICカード・モバイルソリューション事業においても、決済関連端末の需要の増大に伴い売上が伸び、さらに生産現場での情報漏洩リスクなどに対するセキュリティ確保といった新規サービス分野の売上も増加しました。半面、交通管制事業は、通過車両計測システムの拡大を図りましたが、大型案件が少なく売上は大幅に減少しました。利益面では、運営変革による固定費削減等により、売上増加率を遥かにしのぐ利益を創出しました。

2007年度は、売上高900億円（前期比15.0%減）、営業利益73億円（同9.6%減）を想定しています。乗車券のICカード化に伴う需要が一巡することから、売上は大きく減少する見込

## SSBの実績と計画

(億円)

| 年度     | 2007 (計画) | 2006  | 対前年度      | 2005 | 2004  | 2003  |
|--------|-----------|-------|-----------|------|-------|-------|
| 売上高※   | 900       | 1,059 | 115.4%    | 918  | 1,152 | 1,360 |
| 国内     | 875       | 1,018 | 112.6%    | 905  | 1,086 | 1,264 |
| 海外     | 25        | 41    | 308.8%    | 13   | 66    | 96    |
| 北米     | 10        | 5     | 262.1%    | 2    | 2     | 2     |
| 欧州     | 0         | 0     | —         | 0    | 4     | 9     |
| アジア    | 0         | 0     | —         | 0    | 0     | —     |
| 中国     | 0         | 0     | —         | 0    | 0     | 4     |
| 直接輸出   | 15        | 36    | 317.9%    | 11   | 60    | 80    |
| 営業利益※  | 73        | 81    | 182.0%    | 44   | 64    | 104   |
| 営業利益率※ | 8.1%      | 7.6%  | +2.8% pt. | 4.8% | 5.6%  | 7.6%  |
| 研究開発費  | 35        | 51    | 128.3%    | 39   | 53    | 76    |
| 減価償却費※ |           | 33    | 101.9%    | 32   | 61    | 66    |
| 設備投資   | 18        | 39    | 91.6%     | 43   | 41    | 32    |

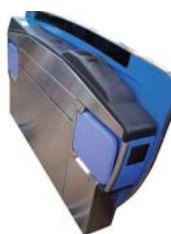
※計画の為替レートは、1米ドル115円、1ユーロ150円としています。

※記載の売上高とは、セグメント間の取引を除く「外部顧客に対する売上高」を示しています。一方、営業利益についてはセグメント間の取引および配賦不能な本社経費等を控除する前の「内部利益を含んだ営業利益」を示しています。

※減価償却費の「計画値」は公表しておりません。

### 非接触IC専用自動改札機

改札機に取り付けられたアンテナ部に非接触ICカードをかざすだけで瞬時に情報を読み取り、人の通過の是非を判断する非接触ICカード専用の最新型自動改札機。



### リアルタイムセキュリティ管理システム

常に変化する建物内の重要資産に対するリスクを数値化し、リアルタイムに把握できるようにすること(=リスクの見える化)によって、安心・安全確保に貢献するシステム。



### 次世代画像センサ

移動物体の動きの違いに着目し、画面上で重なった物体を分離し、正確に追跡するセンサ。道路交通分野での実用化を経て、人・モノの動きのセンシングによる安心・安全ソリューションへの応用を進めています。



みです。一方、セキュリティ分野では顔認識技術を用いた生産現場での入退出管理などIDをキーとした新規ビジネスの需要拡大を見込んでいます。利益面では、運営変革の継続や販売管理費・研究開発費の効率的運用による固定費の削減によって、売上減少に伴う減益幅を極力抑制し、営業利益率のさらなる向上を目指します。

### 成長加速に向けた施策

#### ✓ セキュリティ関連の新システムを開発

2006年11月、株式会社竹中工務店様と防犯関連コンサルティングを専門とする株式会社セキュアプランニング様との3社共同で、「リアルタイムセキュリティ管理システム」を開発しました。これは建物内に設置されているカメラやセンサなどを通じて得られる重要資産の所在や付近の人の状況などの情報をもとに、刻々と変化する外的・内的リスクを定量化することで、管理者がリアルタイムでリスク値を把握、適宜・最適なリスク対策の実行を可能とするシステムです。SSBはこの新システムを

工場やオフィスのみならず商業施設、学校などにも展開し、街の安心・安全向上に貢献していきます。

#### ✓ IDマネジメントソリューション事業をスタート

2007年3月、SSBはセキュリティソリューション事業とICカード・モバイルソリューション事業を統合し、「IDマネジメントソリューション事業」をスタートしました。同事業は、個々に存在する人やモノのID情報を収集・分析し、「安心・安全」、「快適・便利」のソリューションを提供することで、街・地域の価値向上に貢献する事業です。2007年度は各種セキュリティパッケージの充実による街・地域のセキュリティ向上と、少額決済分野やポイントサービス分野等におけるICカードの利便性向上に取り組みます。